

国分高校通信 < 第21号 >

平成26年度版

平成26年12月26日(金)

鹿児島県立 国分高等学校

霧島市国分中央2丁目8番1号

TEL 0995-46-0001

弁論大会最優秀賞者による発表、及び海外・県外派遣者による体験発表

12月24日(水)終業式の前、本校体育館で5人の生徒達が弁論や、それぞれの体験を全校生徒に向けて発表しました。

弁論大会最優秀者の発表は2名で、1年生の若松さんは、「言葉のナイフで流れる血」という題で、顔が見えないSNS上やネット上で、心に傷の残るいじめがあふれている。相手が嫌うかどうかや相手のことを考えて、いじめをなくそうと訴えました。また、2年生の花田さんは、「女子の不思議」という題で、「ヤバイ」だけで成り立つ会話や「かわいい」で丸く収める女子の傾向を見直して、本音を言い合える友人関係を作ろうと訴えました。

県外・海外派遣者の発表は3名で、アメリカやカンボジアに派遣された生徒(4名)と、岐阜県海津市に派遣された生徒(4名)の中から代表として3名が発表しました。

岐阜県海津市に派遣された1年生の石川さんは、江戸時代、濃尾平野で水害に苦しむ人々を救うため命をかけて宝暦治水を行った薩摩藩の先人の偉業に誇りを感じるとともに、自分もたくさんの挑戦をし、視野を広げたいと述べました。

カンボジアに派遣された2年生の福田さんは、カンボジアの人々が自分たちの国を良い国にしたいと思わない限り変わらないことを現地の人々と接して感じたことや、自分自身が関わるためにどんな進路をとればいいのか考えたことを述べました。最後に、1年生の大尾さんはホームステイ先(アメリカ)での戸惑いや不安を乗り越えたことから自信を持って積極的行動をとれるようになった1カ月間の変化を述べ、もっと変化が生まれるような行動をとっていきたくないと決意を語ってくれました。



平成26年度 理数科課題研究発表会



12月26日(金)霧島市教育委員会共催で、理数科課題研究発表会を実施しました。この課題研究発表会は、平成22年度までは、本校の視聴覚室で行っていましたが、保護者や地域の方々、中学校の先生方や中学生にも観覧していただき、理数科の教育活動に理解を深めてもらうために、平成23年度からは国分シビックセンターの多目的ホールで行うようになりました。

今年は、1年生は1つの班、2年生は6つの班がパワーポイントを使用しての発表を、1年生2つの班がポスターによる発表を行いました。霧島市教育委員会の方や地域の中学生や高校生、保護者が発表会に参加してくださり、多くの貴重な意見や感想をいただきました。



発表テーマは以下のとおりです。

()は班名、※はポスター発表

- 「比べてみよう **フン虫**の体」 (1年昆虫班)
- 「空中を落下する **トランプ**に規則性はあるか？」 (物理班)
- 「生分解性 **プラスチック**の生成」 (化学リグニン班)
- 「**NH₄Cl**の再結晶の不思議」 (化学結晶班)
- 「**ノコギリクワガタ**は幸屋火砕流を生き延びたか？」 (昆虫班)
- 「国分高校に分布する **始良層**の研究」 (地学班)
- 「**魔方陣**の研究」 (数学班)
- ※「国分周辺の **地層**の研究」 (1年地学班)
- ※「えびの高原池巡り **水質調査報告**」 (1年化学班)

